

# 中丹地域振興計画の推進について

令和7年9月16日  
京都府中丹広域振興局

# 01

計画



## ● 「京都府総合計画」

### ○役割と構成

# 「京都府総合計画」の役割と構成

「総合計画」とは、平成23（2011）年に施行された「京都府行政運営の基本理念・原則となる条例」第4条の規定により、京都府のめざす方向性を将来構想、基本計画等の形で明らかにするものです。



## 将来構想

京都府がめざす方向性について概ね20年後の2040年を展望し、実現したい将来像を示すもの

## 基本計画

①～③で構成、4年間の取組を示すもの

- ① 施策の方向性を示した  
「8つのビジョンと基盤整備」
- ② 市町村単位を越えた連携に着目  
「8つの広域連携プロジェクト」
- ③ 全体を分野別に体系化  
「分野別基本施策」

## 地域振興計画

山城・南丹・中丹・丹後の広域振興局ごとに各地域の資源や特性を生かした、地域振興策を示すもの

# 「京都府総合計画」の役割と構成～将来構想～

京都府の未来  
2040

一人ひとりの  
夢や希望が  
全ての地域で  
実現できる  
京都府をめざして

01

## 人と地域の絆を大切にする共生の京都府

全ての人が地域で「守られている」「包み込まれている」と感じ、誰もが持つ能力を発揮し、生涯現役で活躍することができる共生の社会づくりを。

02

## 文化の力を継承し新たな価値を創造する京都府

文化が、観光、食、伝統産業から先端産業まであらゆる分野と融合し、京都流の新たな価値を創造し、発信し続ける社会づくりを。

03

## 豊かな産業と交流を創造する京都府

社会課題を解決し、世界からも注目されるイノベーションを起こし、キラリと光輝く企業が府内のあらゆる地域に立地している社会づくりを。

04

## 環境と共生し安心・安全が実感できる京都府

「脱炭素」で環境にやさしい社会を実現するとともに、ハード・ソフトの両面から、災害・犯罪等からの安心・安全、そして全ての地域が地域資源を生かした豊かさを実感できる地域づくりを。

# 「京都府総合計画」の役割と構成～基本計画～

改定の  
ポイント

京都府がめざす施策の方向性

## 「8つのビジョンと基盤整備」

「安心」・「温もり」・「ゆめ実現」の3つの視点に対応

### 安心

- 01 安心できる**健康・医療・福祉**の実現
- 02 災害・犯罪等からの安心・安全の実現

### 温もり

- 03 子育て環境日本一・**京都**の実現
- 04 誰もが活躍できる**生涯現役・共生の京都**の実現
- 05 共生による**環境先進地・京都**の実現

### ゆめ実現

- 06 未来を拓く**京都産業**の実現
- 07 文化の力で世界に貢献する京都の実現
- 08 交流と連携による活力ある京都の実現

「8つのビジョン」を支える人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

# 丹後地域振興計画

宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町

安心して「元気」に住み続けることができ、  
希望が持て夢が実現できる丹後地域

## 4年間の対応方向

- 災害に強く安心して元気に住み続けることができる安心・安全な地域づくりを推進
- 地場産業の発展や新たな産業の創造など、地域が誇りを持てる活力ある産業づくりを推進
- 地域を支え、その活力の源となる人材の確保・育成を進めるとともに、誰もが活躍できる地域づくりを推進



# 南丹地域振興計画

亀岡市 南丹市 京丹波町

来てよし・観てよし・住んでよし  
交流人口・関係人口1,000万人超の  
賑わいと活気のある京都丹波

## 4年間の対応方向

- 京都丹波の地域資源を生かした観光や移住・定住の推進による交流・活力のまちづくり
- 人権が尊重され、子育て世代にも魅力があり、誰もが希望を持って元気に暮らせる地域づくり
- 明日の京都丹波産業を担う人づくり
- 交流と安心・安全の基盤づくり

# 中丹地域振興計画

福知山市 舞鶴市 綾部市

心つながる田舎の魅力と都市機能の両方を享受し、海・里山・まちを舞台に求める暮らしが実現できる地域を

## 4年間の対応方向

- 若者が定着する持続可能な地域づくり
- 絆と交流の地域づくり
- 安心・安全に暮らせる地域づくり

# 山城地域振興計画

宇治市 城陽市 向日市 長岡京市 八幡市 京田辺市  
木津川市 大山崎町 久御山町 井手町 宇治田原町 笠置町  
和束町 精華町 南山城村

個性豊かなそれぞれのエリアが  
魅力を輝かせ、つながり、  
更に発展する山城地域

## 4年間の対応方向

- 新名神の全線開通を見据え、それぞれのエリア特性に応じた地域づくりの推進
- 暮らしを支え、災害に強い持続可能な安心・安全の基盤づくり
- 子育てや長寿の安心を確保し、人権が尊重され、誰もが生き生きと暮らせる共生社会の実現
- やましろ産業を地域の未来を支える柱へとパワーアップ

# 02

地域振興計画



compass

## ● 「中丹地域振興計画」の概要

# 中丹地域の概要



面積：1,241平方キロメートル（府域の約27%）  
人口：福知山市 74,182人  
舞鶴市 74,089人  
綾部市 29,787人  
合計 178,058人（府域の約7.1%）

（出典）人口：京都府推計人口（令和7年8月1日現在）

## 地域特性

- 大江山や由良川、舞鶴湾などの豊かな自然、豊富な食材、歴史・地域文化
- 地域内・京阪神をむすぶ高速道路網や、海外に門戸を開く京都舞鶴港などの交流基盤整備が進展
- 長田野・綾部工業団地等への産業集積、雇用の場を形成
- 福知山公立大学、京都工芸纖維大学福知山キャンパス、舞鶴工業高等専門学校などの高等教育機関が立地
- 管内には16の病院があり、各市に公立病院を備えるなど、地域医療が充実
- 府内でも高い合計特殊出生率

## 心つながる田舎の魅力と都市機能の両方を享受し、海・里山・まちを舞台に求める暮らしが実現できる地域を

### 01 多様なライフスタイルが実現できる中丹地域

コロナ禍によるテレワークや地方移住の広がりなどを踏まえ、「田舎暮らし」「まちなみ暮らし」「二拠点居住」など、この地域の強みをさらに生かして、一人ひとりの事情と希望に応じた多様なライフスタイルが実現できる地域

### 02 産業が活発で、働き方を幅広く選択できる中丹地域

農林水産業から製造業、サービス業まで様々な産業が活発に行われ、働き方も自営から就業まで幅広い選択ができる地域

### 03 若者が定着し、人にやさしい持続可能な中丹地域

コロナ禍で再認識された家族や社会の繋がりの重要性を踏まえ、Uターン等により若者がしっかり地域に定着し、子どもから高齢者まで住民が生き生きと暮らす、人にやさしい持続可能な地域

## 基本方向

2040年の実現に向けた  
「基本的な視点」と  
「具体的な施策」を示すもの

## 計画期間

令和5(2023)年4月1日  
  
令和9(2027)年3月31日

# 施策推進の基本的な視点

## ① 「一人ひとりの尊厳と人権の尊重」

誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現に向けて、人権教育、啓発の取組を推進

## ② 「多様な主体との連携・協働」

企業、地域住民、国、市、教育機関、DMO、地域で活動する団体、地域メディア等との連携・協働

## ③ 「地域における施策の総合的実施」

府の様々な部局が担当する施策を組み合わせコーディネート

具体的  
施策

## 3つのテーマで 「中丹地域の将来像」 を実現（対応方針）

若者が定着する  
持続可能な  
地域づくり

若者地域定着・  
担い手確保

絆と交流の  
地域づくり

交流の拡大・  
関係人口創出

安心・安全に  
暮らせる  
地域づくり

社会基盤整備・  
防災減災対策

# 4年間で進める具体的な施策

「2040年に実現したい姿」から現状を振り返り、

今後4年間で進める具体的な施策を設定

## 若者定着

- 01 UIターン等により若者等が暮らし続けたくなる環境整備
- 02 人権が尊重され子育てにやさしく安心して暮らせる環境整備
- 03 地域産業の振興と雇用の促進、人材育成

## 絆と交流

- 04 自然や地域文化等の**地域資源**を生かした交流の拡大と関係人口の創出
- 05 地域の食など**特產品の魅力向上**を通じた交流の拡大と関係人口の創出
- 06 京都舞鶴港海外航路等の活用による人流・物流の拡大
- 07 人流・物流等を支える**交通ネットワーク**の整備

## 安心・安全

- 08 災害に強い**社会基盤整備**
- 09 災害対応力の強化
- 10 安心して暮らせる**環境整備**
- 11 万一に備えた**原子力防災**対策の充実

# 若者が定着する持続可能な地域づくり

## 課題

- ✓ 若者がUIターンなどにより地域に定着する施策が必要
- ✓ 社会全体で子育てを支援する環境づくりや、子どもから高齢者まで安心して健やかに暮らせる施策が必要
- ✓ 住民生活の中で大きなウエイトを占める「しごと」について種類や働き方を充実させ、担い手の確保・定着を図るために、製造業や農林水産業をはじめとする地域産業の更なる振興と雇用の促進が必要



## 施策展開の方向性

重点的に

1 UIターン等により若者等が暮らし続けたくなる環境整備

2 人権が尊重され子育てにやさしく安心して暮らせる環境整備

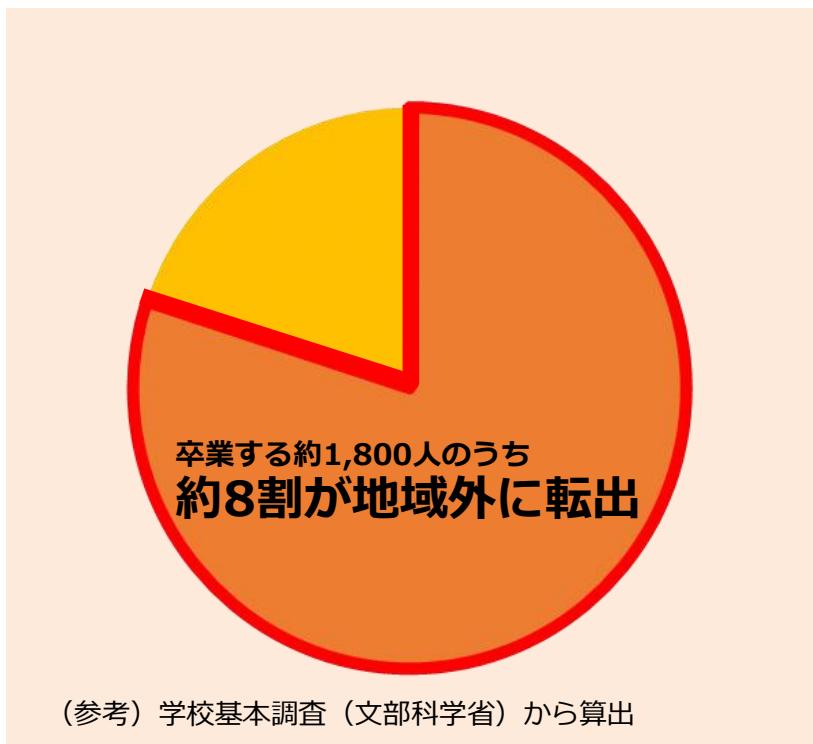
3 地域産業の振興と雇用の促進、人材育成

# 若者が定着する持続可能な地域づくり

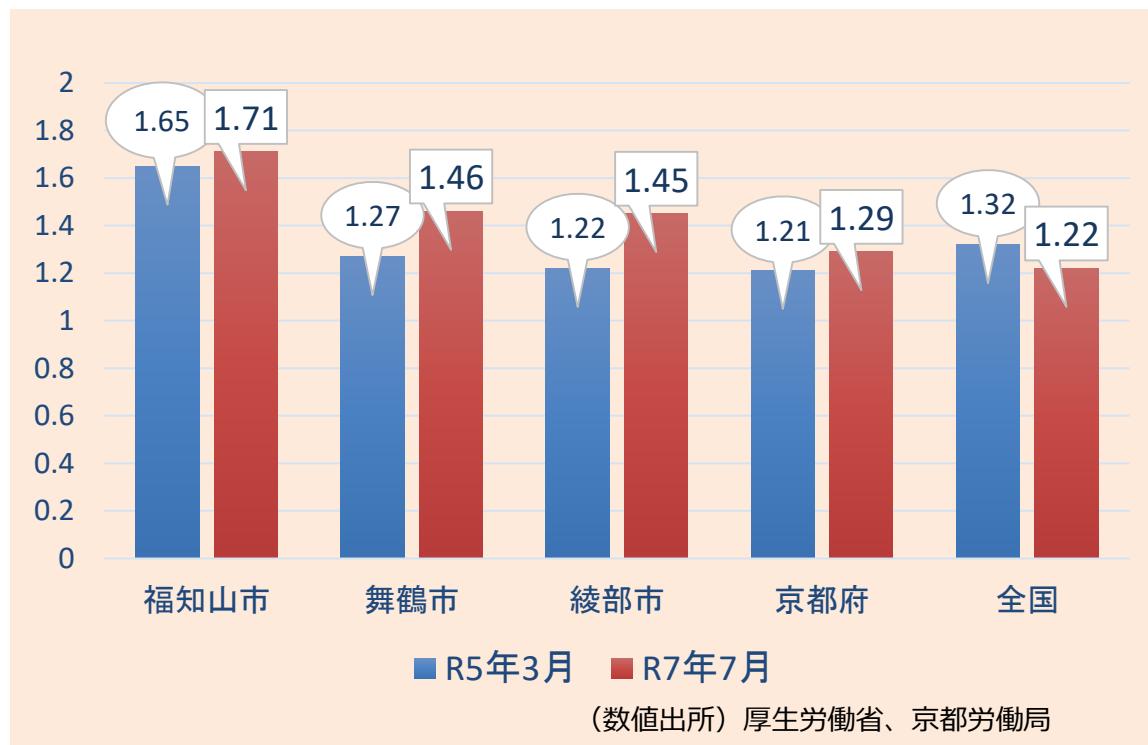
## U I ターン等移住・定住の促進

- 管内高校卒業生のうち、進学等で約8割が地域外に転出します。
- 有効求人倍率（R7年7月）は、府全体では1.29倍ですが、中丹地域（3市）では1.57倍であり、人手不足の状態が続いています。

【地元を離れる若者】



【有効求人倍率】



### <R 6年3月卒業>

管内高校卒業生数 1,785人

うち、進学 1,334人 → ほぼ地域外に転出(74.7%)

うち、就職等 451人 (不詳含む) (25.3%)

# 若者が定着する持続可能な地域づくり

## U I ターン等移住・定住の促進

### 中丹U I ターン促進事業（その1）

#### R7年度の主な取組

##### □ 高校生等若者地域就職・定着促進事業

- 地元企業の高校生向け出前講座や保護者のための就活セミナーを開催
- 地元企業や工場を訪問し、実際の製品や企業が提供するサービス等に触れることのできる、企業の魅力体感ツアーを実施
- 中丹地域で働く若者を対象に、職場以外の同世代を中心とした交流する場づくりを提供する「YOU好会」を開催



##### □ 「移住するなら京都中丹」推進事業

- 主要都市で開催の移住フェアへ出展し、移住相談会を開催するとともに、地域のゲストスピーカーとの交流や地域の魅力・情報を提供する移住セミナーを開催
- 優良な登録空家の増加に向け、WEB併用による空家相談会を開催



# 若者が定着する持続可能な地域づくり

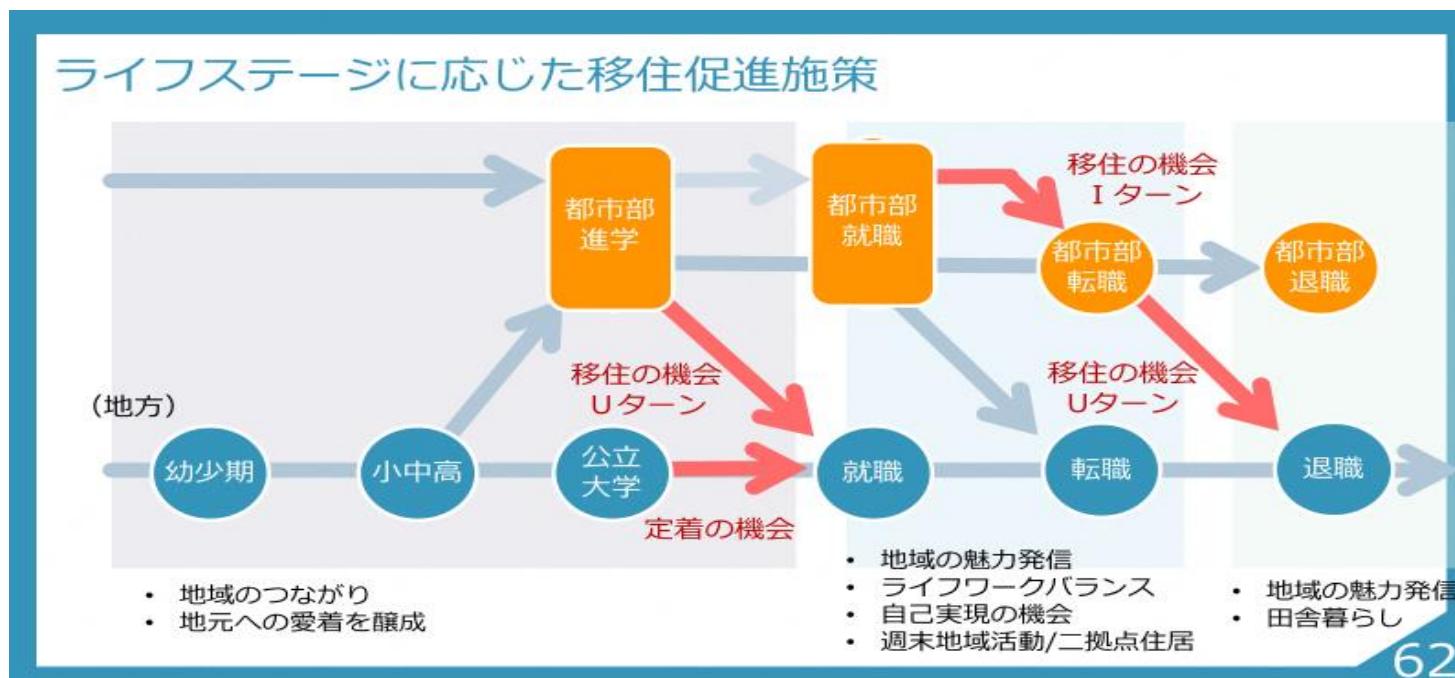
## U I ターン等移住・定住の促進

### 中丹U I ターン促進事業（その2）

- ✓ Uターン等新たな移住施策の展開に向け、管内各市や福知山公立大学等と連携し、中丹管内の移住者等へヒアリングによる定性調査等を実施（福知山公立大学への委託研究事業）

### R7年度の主な取組

- 令和6年度の調査結果を踏まえ、学生による大学生への意識調査及びUターン者等へのヒアリングを実施し、新たな移住施策のあり方や事業手法を検討



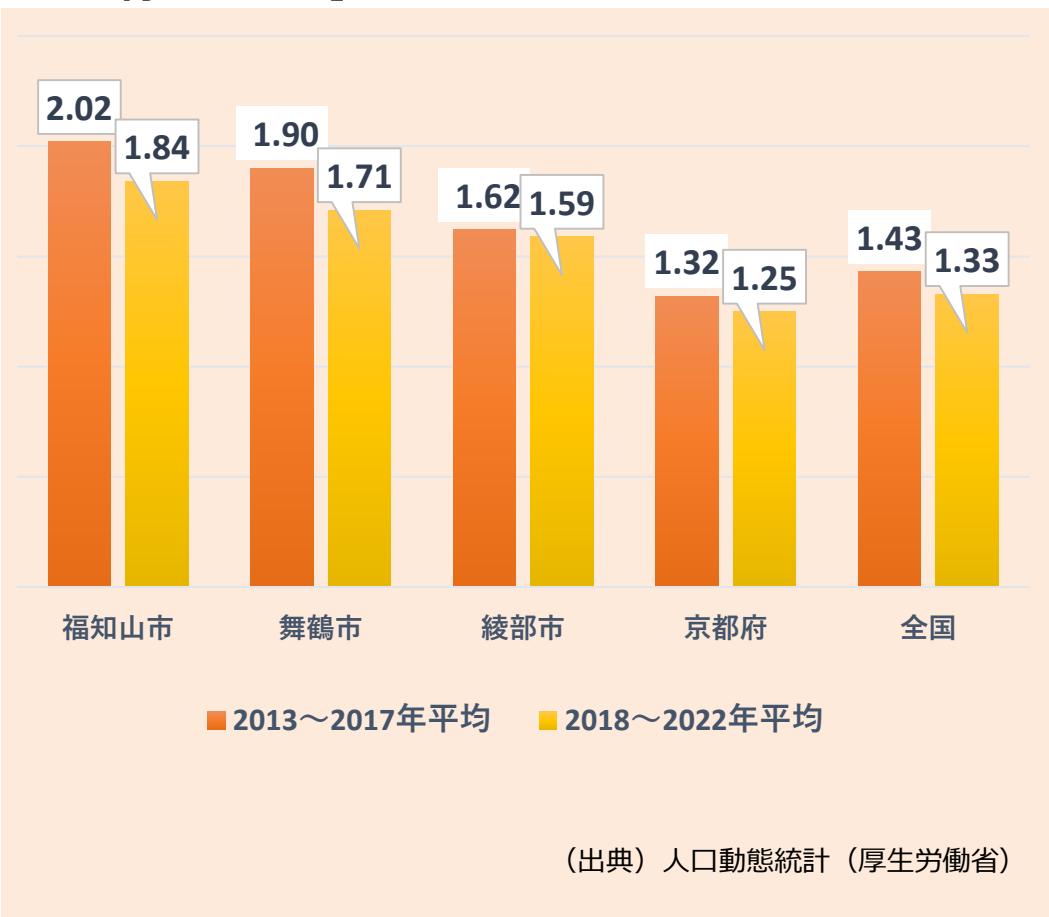
福知山公立大学共同研究  
発表資料  
(福知山公立大学作成)

# 若者が定着する持続可能な地域づくり

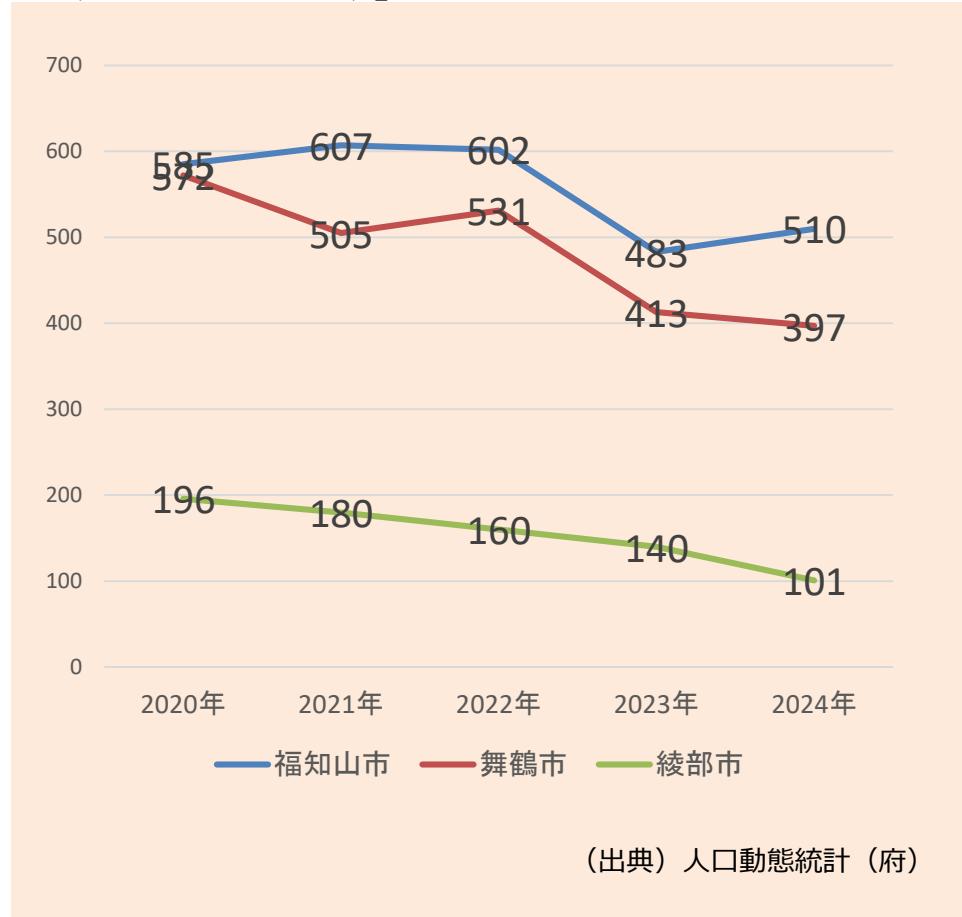
## 安心して子育てできる環境整備

- 出生数は全体として減少傾向にありますが、合計特殊出生率は府内でも高い地域です。  
福知山市: 2位、舞鶴市: 3位、綾部市: 7位 (2018~2022年平均)

【合計特殊出生率】



【中丹3市の出生数】

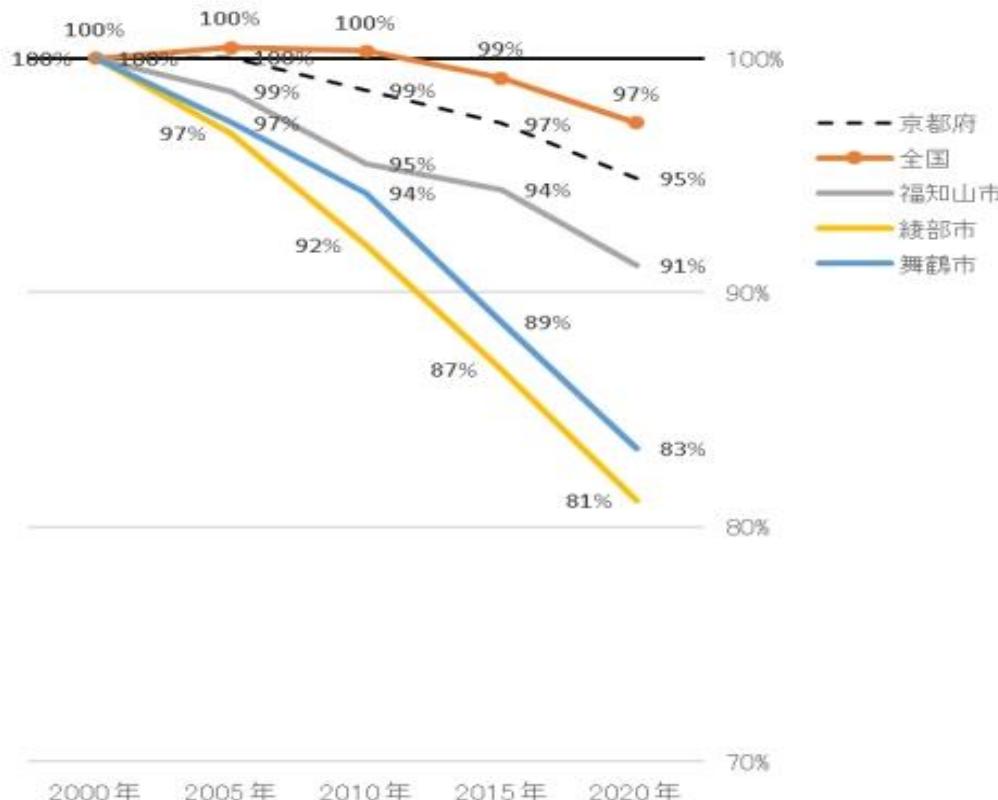


# 若者が定着する持続可能な地域づくり

## 安心して子育てできる環境整備

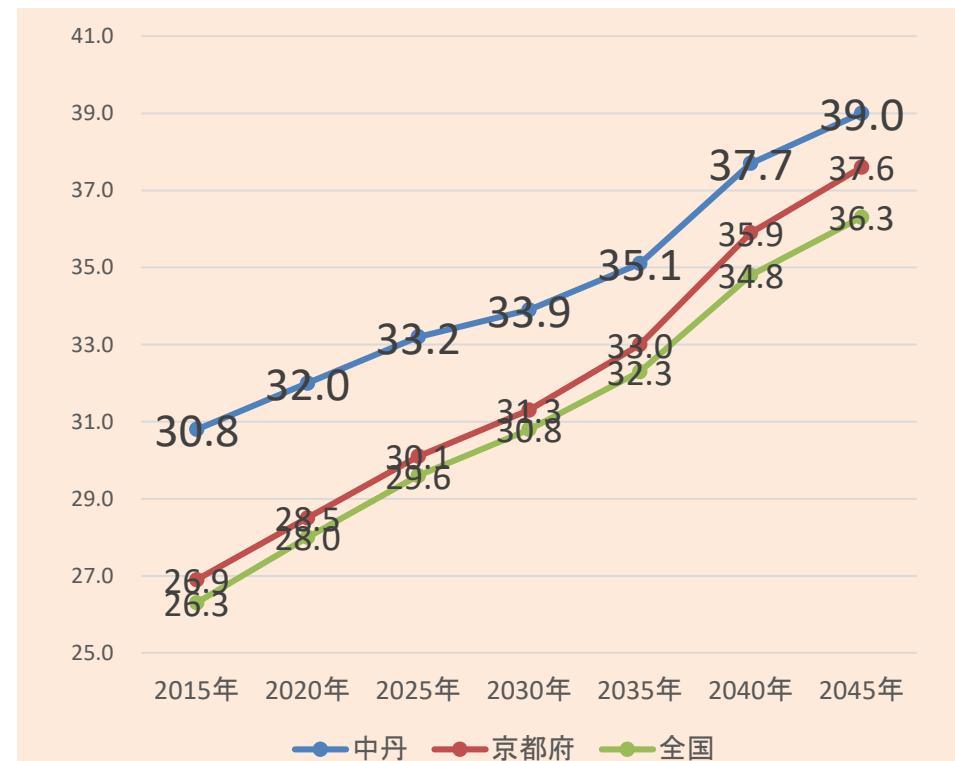
- 2000年人口を100%とした20年間の人口推移は、京都府平均に比べ、特に舞鶴市、綾部市は大きく減少しています。
- 高齢化率は、京都府平均に比べ中丹地域の数値が高く、2045年には40%に迫る予測です。

【2000年人口を100とした20年間の人口推移】



(出典) 総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の地域別将来推計人口」

【高齢化率】



(出典) 総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の将来推計人口」

# 若者が定着する持続可能な地域づくり

## 安心して子育てできる環境整備

### 子育て層に対するヒアリング調査（その1）

#### □目的

子育て環境には様々なニーズが求められ、時代とともに変化してきている中、**新たなニーズに応じた事業展開を検討するため、中丹地域の子育て層を対象に、地域の生活実感や子育てに関するニーズ等を調査**

□調査期間 令和7年5月26日～5月30日

□調査対象者 中丹管内在住で18歳以下の子育て家庭（41名）

#### □調査結果（抜粋）

◆ この地域に住んでいて「良かった」と感じる  
ことは何ですか？（複数選択可）

自然が豊か	24.1%
住宅や土地にゆとりがある	18.6%
地域の人が親切・温かい	17.2%
食・農など暮らしに密着した魅力がある	13.8%
子育て施設・保育環境が整っている	11.7%
その他	14.6%

#### 【満足・魅力】

- 自然環境、住環境、ご近所（地域）との関係性については、概ね満足している。
- 食・農など暮らしに密着した魅力や子育て・保育環境については、一定満足している。

## 安心して子育てできる環境整備

### 子育て層に対するヒアリング調査（その2）

- ◆ 子育てをする中で、地域の人や地域のイベントとの関わりはどのくらいありますか？  
（単一選択）

時々ある	51.2%
よくある	29.3%
あまりない	14.6%
ほとんどない	4.9%

- ◆ 子育て支援団体（NPO・市民団体・ボランティアなど）との関わりはどのくらいありますか？（単一選択）

情報は知っているが利用はしていない	41.5%
時々参加・利用する	39.0%
よく参加・利用している	12.2%
存在を知らなかつた	7.3%

#### 【地域や子育て支援団体との関わり】

- ▶ 地域の人や近隣住民からの手助けや、地域のイベントを通じた交流があるという回答が多い。
- ▶ 子育て支援団体の情報は知っているが利用していない、または時々利用するという回答が多い。

## 安心して子育てできる環境整備

### 子育て層に対するヒアリング調査（その3）

- ◆ この地域がもっとこうなったらいのに、と思うことはありますか？（複数選択可）

公共交通が不便	17.1%
子どもと安心して遊べる公園・施設が少ない	12.9%
塾や習い事、学習支援の選択肢が少ない	10.0%
中高生の居場所（自習室、カフェ）がない	9.3%
その他	50.7%

- ◆ 子育て情報や子育て相談等について、どういうツールを利用して情報収集していますか？（記述式）

SNS（LINE、Instagram、Facebook等）	29.2%
市のアプリ、広報誌、チラシ冊子、掲示板	21.5%
保護者・友人・職場での口コミ	20.0%
インターネット検索	16.9%
その他	12.4%

- 乳幼児だけでなく、小中高校生等の子育て層を含めた支援を求めている傾向
- 子育て層が欲しい情報の収集は、SNSが最も多い、市からの情報、口コミと続く  
⇒市外の情報も積極的に発信することにより、居住満足度が上がる可能性あり

#### 【ヒアリング調査から見えた方向性】

- 乳幼児期の支援は概ね満足している一方、小学生～高校生の時期における情報発信等、支援体制についての課題が見受けられる。

# 若者が定着する持続可能な地域づくり

## 安心して子育てできる環境整備

### 中丹子育て未来づくり推進事業

- ✓ 子育て中の方をはじめ、子育て支援団体や企業・経済団体、行政機関等が参画する「**中丹子育て未来づくり100人会議**」（プラットフォーム）を令和2年2月に設立
- ✓ 100人会議に「**子育てワーキング**」と「**企業ワーキング**」を設置し、子育てしやすい地域のあり方や職場づくり等に向けた取組を実施

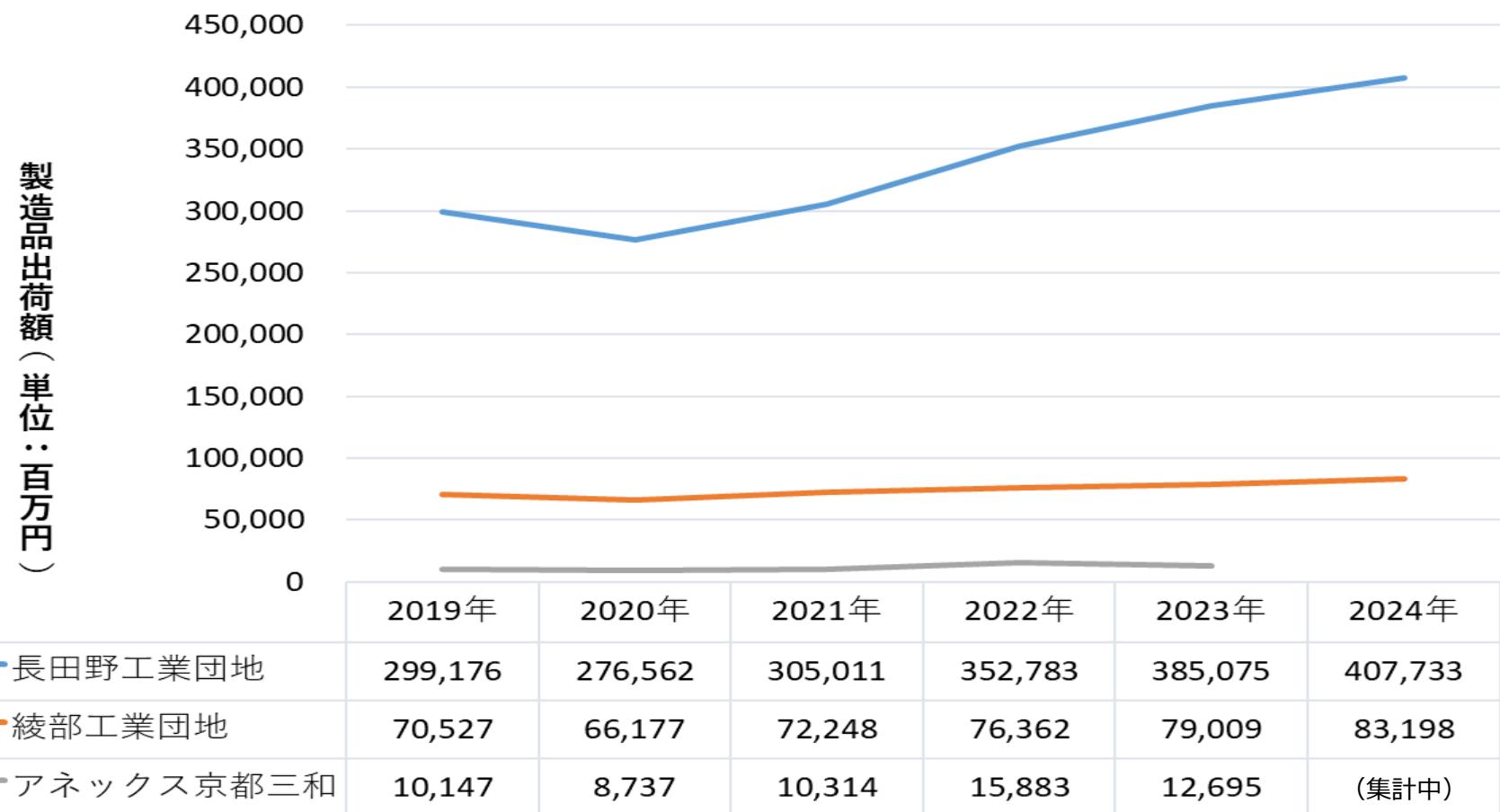
### R7年度の主な取組

- 子育てリーフレットを活用した普及・啓発や子育て支援団体等と連携し、子育て家庭を応援する新たなネットワークづくりを目的とした**交流会**を実施（**子育てつながる交流会+**）
- 出産から教育までの幅広い支援を対象に、変化する子育て環境に伴う**新たなニーズ**に対応した**事業展開を検討する座談会**を開催



## 地域産業の振興と雇用の促進、人材育成

- 管内各工業団地の製造品出荷額は、コロナ禍の影響により2020年度（令和2年度）は減少しましたが、翌年度以降は回復し、長田野工業団地と綾部工業団地では、2024年度（令和6年度）に過去最高の出荷額を記録しました。



(出典) 長田野工業センター、綾部工業団地振興センター、福知山市産業課による集計結果

# 若者が定着する持続可能な地域づくり

## 地域産業の振興と雇用の促進、人材育成

### 中丹の未来をつなぐ産業創造事業

- ✓ 地域産業の振興と雇用の促進、人材育成を目的に、**中丹地域におけるイノベーション**の創出に向け、イノベーション実践者である先進企業を例に「新しい働き方」を学び、グッドアイデアの創出を目指す。

### R7年度の主な取組

- 京都北都信用金庫と連携し、中丹地域の企業を対象に、自社の強みや課題を認識するワークショップや**先進企業を訪問するスタディツアー**などによるプログラムを実施
- 新たな企業間の繋がりから、更なる成長、課題解決の支援につなげるための**ビジネス交流ワークショップ**を併せて実施



# 若者が定着する持続可能な地域づくり

## 地域産業の振興と雇用の促進、人材育成

### 儲かる農林水産業推進事業

#### R7年度の主な取組

##### □ 「万願寺甘とう」「中丹茶」等生産支援事業

- ・万願寺甘とう等の農家の生産性向上、生産基盤安定化を図るため、ICT技術の活用等によるスマート農業の研修会等を開催



##### □ 「丹波くり」振興未来創造事業

- ・「丹波くりマイスター」養成講座修了生に対して、技術力向上研修や生産者指導実習を実施



##### □ 循環型林業未来創造事業

- ・府内産木材利用の機運醸成を図るため、木造住宅のPRや木製品の販売、木育等の情報を発信するイベントを開催予定

# 若者が定着する持続可能な地域づくり

## 地域産業の振興と雇用の促進、人材育成

### 将来の担い手育成・確保事業

- ✓ 管内企業や関係機関と連携し、製作体験や建設技術を活用したワークショップ等を通じて、ものづくり産業や建設業等の楽しさが学べ、身近に感じてもらう小中学生向けイベントを開催
- ✓ 野菜の収穫作業や袋詰め作業といった農業体験イベントや乳牛の乳搾りや乳製品加工等の体験学習を実施

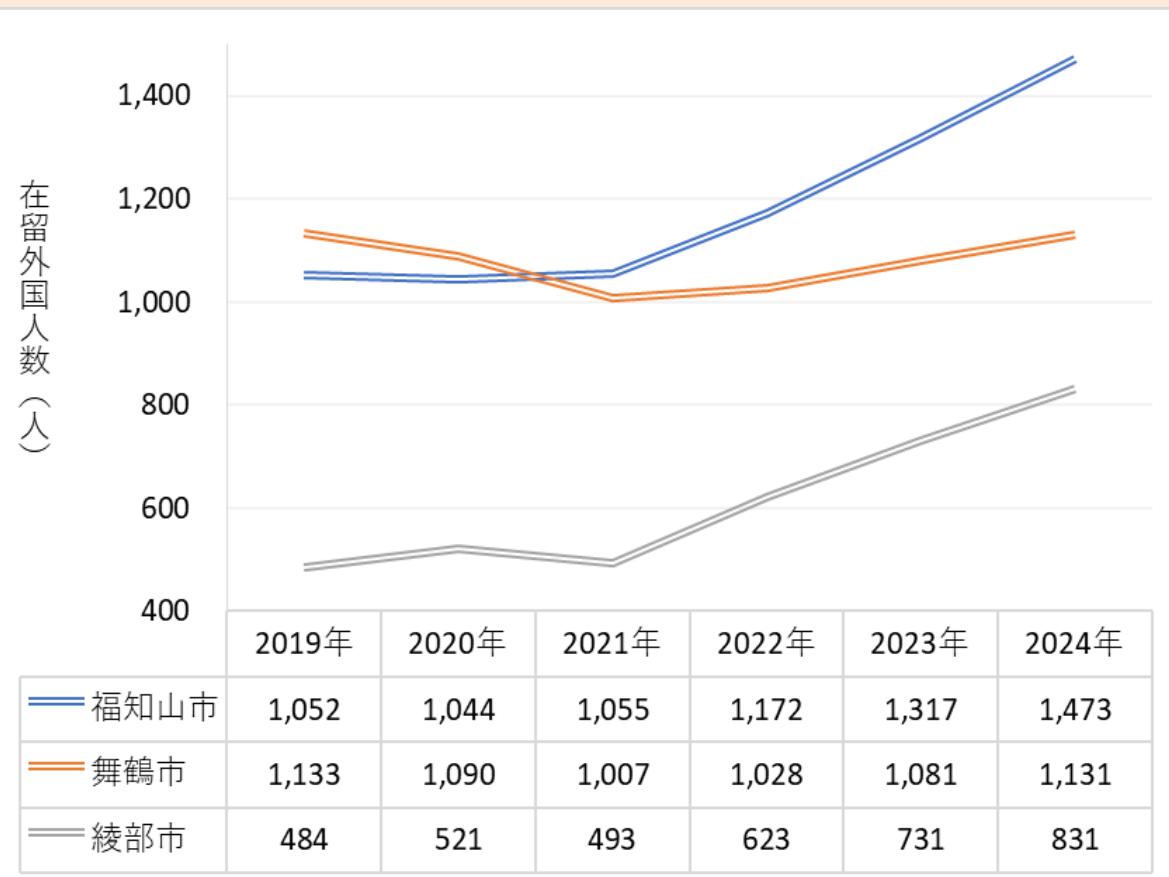
### R7年度の主な取組

- 中丹地域の関係機関と連携し、小中学生向け体験イベント「中丹キッズJOBフェスタ」を実施
- 中丹地域の府内施設等を活用した、体験イベントを実施

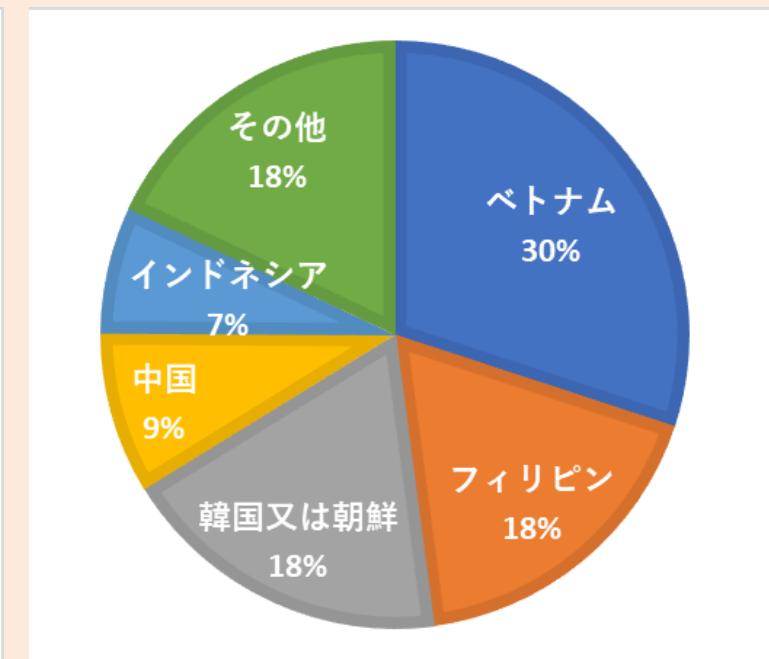


## 地域産業の振興と雇用の促進、人材育成

- 中丹3市の外国人住民数は、年々増加傾向にあり、特に綾部市、福知山市の増加が顕著となっています。
- 国籍別では、ベトナム（30%）、②フィリピン（18%）、③韓国又は朝鮮（18%）の順に多くなっています。



(出典) 出入国在留管理庁「在留外国人統計表」



(出典) 京都府国際課調査（令和6年12月末現在）

## 地域産業の振興と雇用の促進、人材育成

R7新規事業

### 外国人材支援事業

- ✓ 国内全体で人手不足が深刻化し、中丹管内においても人手不足が深刻化する中、担い手として受入れが増えている**外国人材に対する日本語学習等の支援**を通じ、地域文化等の理解促進に取り組む。

### R7年度の主な取組

- 外国人材の確保・定着と日本語教育支援の重要性等を理解いただく「**外国人材活用のための企業向けセミナー**」を開催
- 事業所内に日本語教室をモデル開設し、**外国人労働者への日本語学習を支援**
- 外国人材支援事業に係る取組共有や連携推進を図るため、綾部市、能開協会、本庁関係課、中丹局関係課による**関係者会議を開催**



# 絆と交流の地域づくり

## 課題

- ✓ 現状や地域特性等を踏まえ、自然、文化、地域の食などの地域資源を生かした交流の拡大と関係人口の創出を進めていく必要
- ✓ 地域や国境を越えたヒト・モノ・情報等の交流が活性化する中で、交流等を支える基盤の整備と更なる利活用の推進、地域への効果波及を図る必要



## 施策展開の方向性

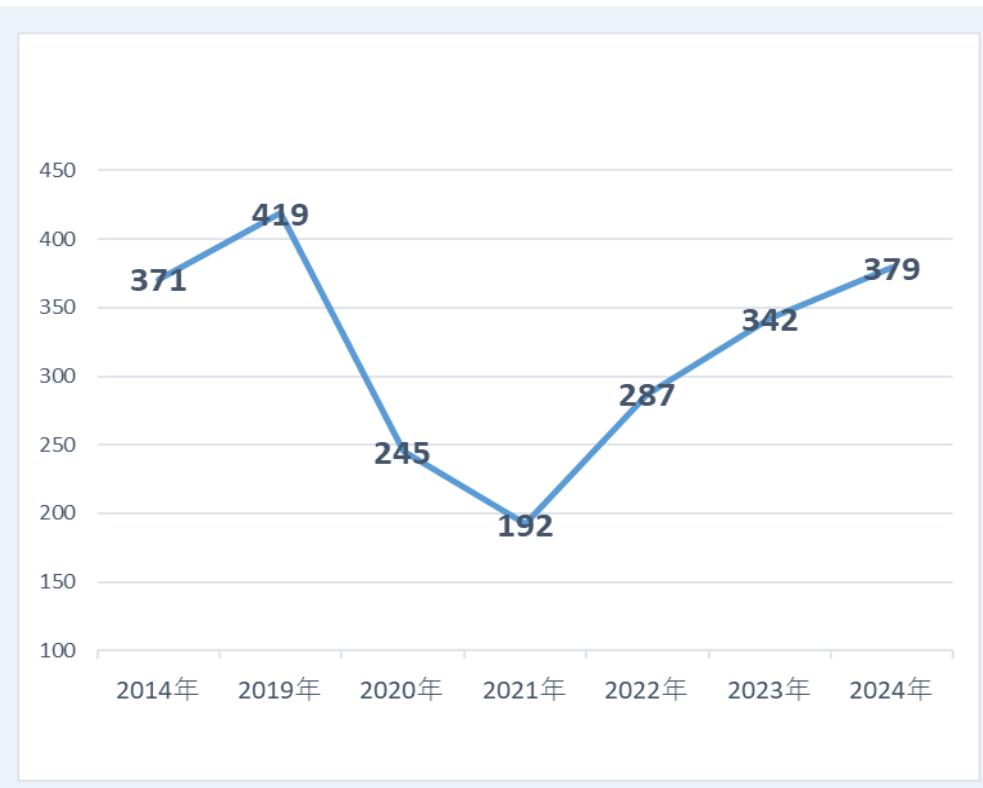
重点的に

- 1 自然や地域文化等の地域資源を生かした交流の拡大と関係人口の創出
- 2 地域の食など特産品の魅力向上を通じた交流の拡大と関係人口の創出
- 3 京都舞鶴港海外航路等の活用による人流・物流の拡大
- 4 人流・物流等を支える交通ネットワークの整備

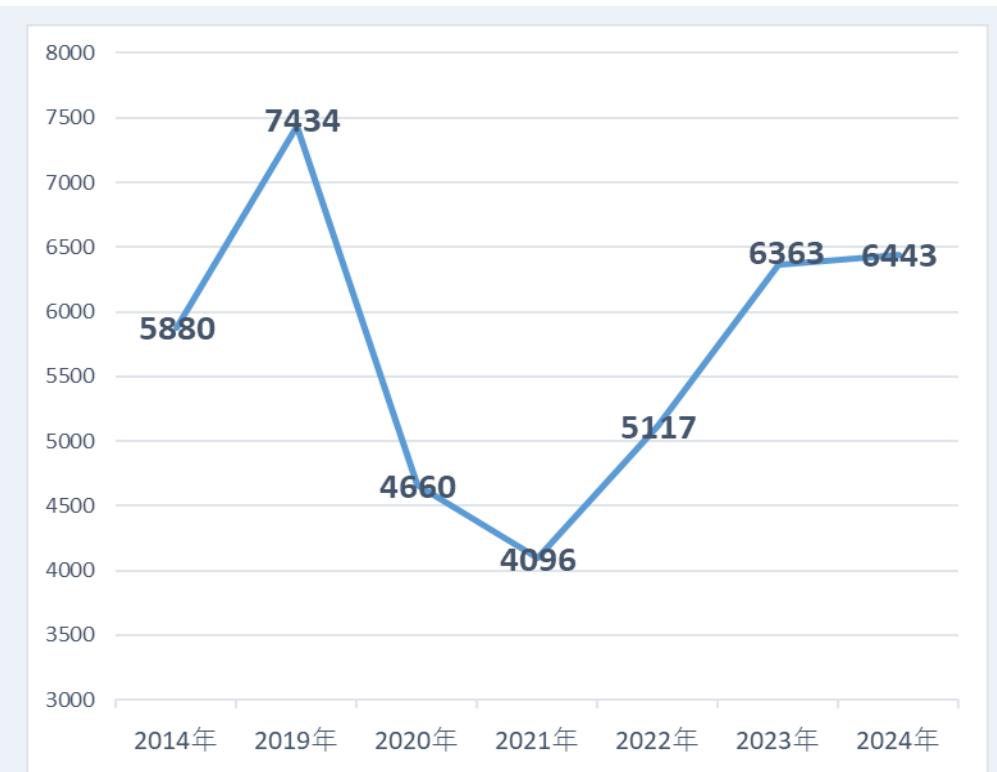
## 交流の拡大と関係人口の創出

- 観光入込客数及び観光消費額は、2019年（令和元年）まで増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な影響を受け、2020年（令和2年）以降大幅に減少しました。
- 2022年（令和4年）以降は、コロナ禍で中止されていたイベントの再開やスポーツ関連施設の利用客数の増加、道の駅の利用客増、インバウンドの増加により回復傾向にあります。

【観光入込客数（万人）】中丹管内



【観光消費額（百万円）】中丹管内



(出典) 京都府「京都府観光入込客等調査報告書」

## 交流の拡大と関係人口の創出

### 中丹の魅力体験・発信事業

#### R7年度の主な取組

##### □ まとめサイト「CO-KYOTO(こきょうと)」

- ・ 地域の情報の集約化
- ・ 目的地以外に、さらに地域に一步踏み込むために、デジタルマップを新規作成
- ・ デジタルマップと連動した新たな記事の作成



- ・ 新日本海フェリー船内及び小樽フェリーターミナルにおいて**丹後和紙と丹波漆を用いたしおり作り**を実施
- ・ 船内及び小樽フェリーターミナルにて**お茶の体験イベント**を実施予定



## 交流の拡大と関係人口の創出

### 中丹「食の魅力」発掘・発信事業

#### R7年度の主な取組

- ジビエの普及・需要拡大のため、森の京都DMO、南丹広域振興局と共に、**第9回森の京都ジビエフェアを開催予定**
- 「京都中丹いちおし商品」の中丹地域外へのPRや販路拡大に向け、福知山公立大学等と連携し、商品の改良やパッケージの更新、**都市部での販売イベントや各商談会へ出展等を支援**



## 交流の拡大と関係人口の創出

### 「大阪・関西万博」中丹地域交流促進事業

- ✓ 大阪・関西万博会場への多くの来場を図るとともに、地域への誘客につなげるため、京都駅等において、万博会場内の関西パビリオンに出展する管内の取組について、**関係団体やDMO等と連携した情報発信等を実施**

#### R7年度の主な取組

##### □ 京都駅「EKIspot KYOTO」出展

- ・黒谷和紙協同組合、山城屋茶舗など関西パビリオン京都ゾーン出展予定者等と地域誘客のためPRを実施

##### □ 大阪駅「関西もっと知りたいDAY」出展

- ・丹後広域振興局やJR西日本らと協力し、地域で開催されるイベント情報をはじめ、京都北部地域に誘客するためのPRを実施

#### 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

- ・期 間：2025年4月13日～2025年10月13日
- ・開催地：夢洲（大阪府大阪市）
- ・参加国・地域：160か国・地域
- ・予想来場者 約2,820万人  
(うち海外来場者：約350万人)
- ・経済効果：約3兆円



# 交流の拡大と関係人口の創出

## 「中丹OCHA EXPO」開催事業

- ✓ 大阪・関西万博の開催を契機とした「きょうとまるごとお茶の博覧会」の取組の一つとして、**地域内外に向け中丹地域のお茶の魅力を発信するイベント**を開催するとともに、インバウンドも含めた地域への誘客に取り組む。

### R7年度の主な取組

- 「京都まるごとお茶の博覧会」の一環として、**「中丹OCHA EXPO」を開催**
  - ・お茶に関する生産者、茶商、茶道関係者など、広くお茶に関わる方と連携して、お茶を通じて中丹地域の魅力を発信
- 「北野大茶会」において、地域の茶文化を発信するため出展等を予定

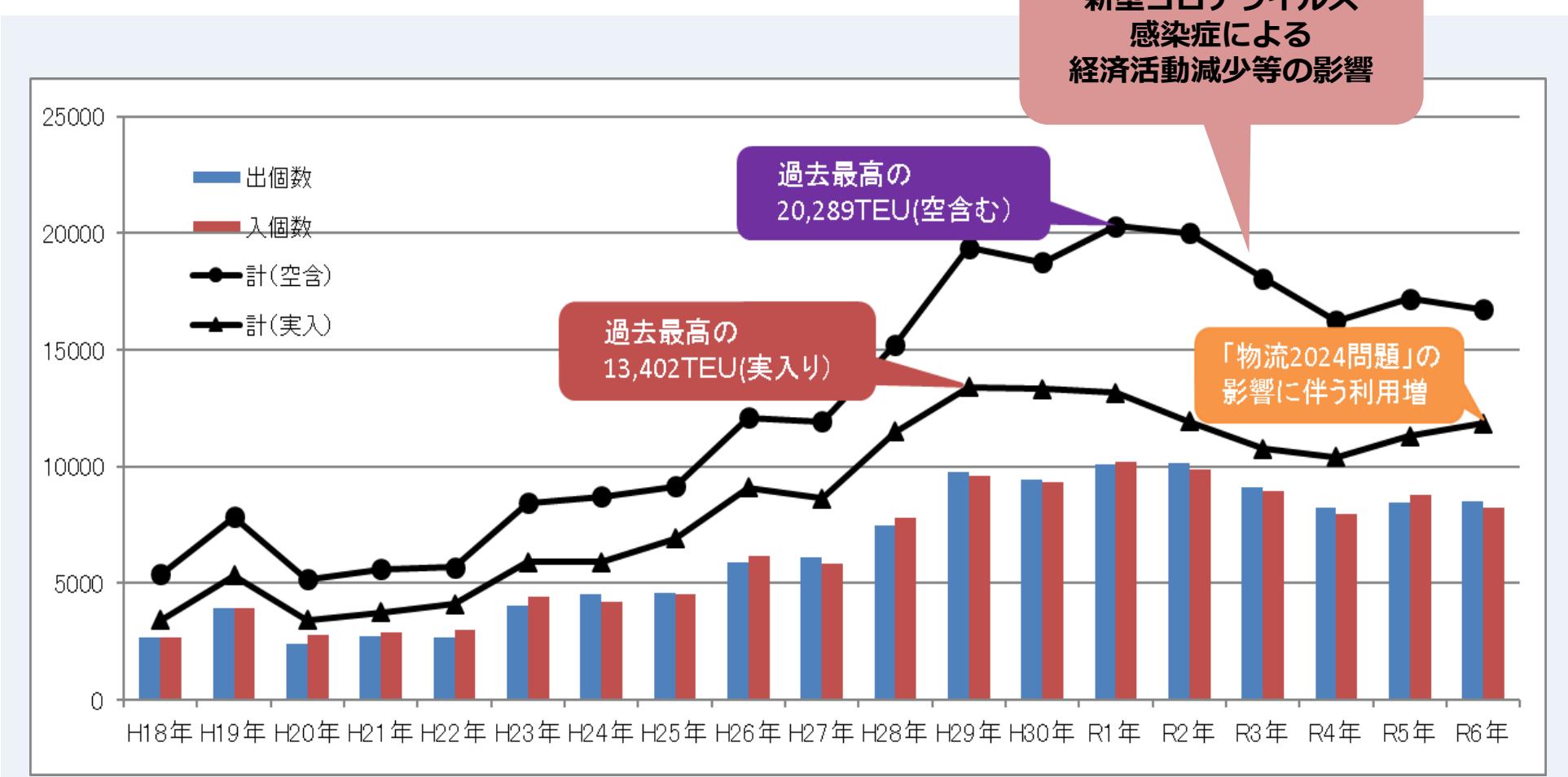


# 絆と交流の地域づくり

## 京都舞鶴港海外航路等の活用による人流・物流の拡大

- 京都舞鶴港では、新型コロナウイルス感染症の影響により、コンテナ取扱量やクルーズ船寄港回数が減少しましたが、令和5年度以降、回復傾向にあります。

### 【京都舞鶴港におけるコンテナ数の推移】



出典：京都府（令和6年）

# 絆と交流の地域づくり

## 京都舞鶴港海外航路等の活用による人流・物流の拡大

### 京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業

- ✓ 京都縦貫自動車道全線開通などの道路ネットワーク強化と港湾整備が相まって、**京都舞鶴港における輸出貨物の集荷範囲が拡大**
- ✓ コンテナ取扱量やコンテナ貨物利用企業数は、**近年大幅な増加**
- ✓ **関西圏唯一の日本海側ゲートウェイ**として、物流・人流双方の機能をさらに強化



【舞鶴国際ふ頭】コンテナ貨物船（右）とバルク貨物船（左）による同時着岸、同時荷役



舞鶴国際ふ頭Ⅱ期整備

- ▶ 取扱量の増加等に対応するため、
  - ・岸壁延伸、ふ頭用地拡張 (H29.10)
  - ・クレーン増設の供用開始 (H30.5)
  - ・CFS供用 (R元.7)
  - ・**第2バース・Ⅱ期整備着手 (R4.1~)**

□ 京都舞鶴港への**外航クルーズ船R6寄港数：11回**(うち外国船10回)

<コロナ感染拡大後の寄港回数>

R2: 0回→R3: 4回→R4: 5回 →R5: 10回

**R7寄港数：13回（予定）**

□ 第2ふ頭における**多目的クレーンの更新** (整備年次: R5～8年度予定)

# 人流・物流を支える交通ネットワークの整備

## 人流・物流や地域の生活を支える道路整備の推進

- ✓ より広域なエリアでの交流・連携を促進する府県間道路の整備や、良好な市街地形成を図る基幹道路の整備を推進する。

### 府県間道路の整備

#### □ 国道429号【榎峰バイパス】（福知山市）

- ・事業期間：令和2年度～8年度予定
- ・整備効果：安心安全で円滑な通行環境の確保、地域間交流の促進 等

#### □ 小浜綾部線【五津合】（綾部市）

- ・事業期間：平成25年度～
- ・整備効果：緊急輸送道路の安全性向上、地域間交流の促進 等



### 基幹道路の整備

#### □ 小倉西舞鶴線【白鳥工区】（舞鶴市）

- ・事業期間：平成26年度～
- ・新トンネル供用開始：令和7年5月

#### □ 福知山綾部線【高津】（綾部市）

- ・事業期間：令和2年度～

# 安心・安全に暮らせる地域づくり

## 課題

- ✓ 安心・安全な暮らしを支える社会基盤の整備を今後とも進める必要
- ✓ ハード面の整備に加えてソフト施策を効果的に組み合わせた防災・減災対策の推進が今後とも必要
- ✓ 新興感染症などの発生に対応できる保健・医療・介護体制を平時から備えておけるシステム、ネットワークづくりや、特に高齢者や子どもたちが住み慣れた地域社会の中で、安心して暮らし続けることができる環境づくりが必要



## 施策展開の方向性

重点的に

- 1 災害に強い社会基盤整備
- 2 災害対応力の強化
- 3 安心して暮らせる環境整備

# 安心・安全に暮らせる地域づくり

## 災害に強い社会基盤整備

### 流域全体で水害を軽減させる「流域治水」の計画的推進

- ✓ 激甚化・頻発化している豪雨災害に対し、しなやかで災害に強い地域づくりを推進するため、流域治水の観点から、**河川改修等の総合治水対策及び土砂災害対策等**に取り組む。

#### 総合治水対策の推進

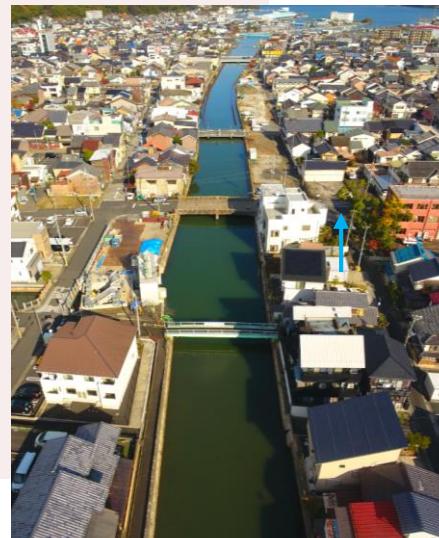
- 市の内水対策事業と連携した総合的な  
**浸水対策【高野川】**（舞鶴市）
  - ・事業期間：平成30年度～

- 由良川支川における浸水対策  
【弘法川・法川】（福知山市）

- ・事業期間：平成27年度～

- 【大谷川】（福知山市）
  - ・事業期間：平成27年度～

- 伊佐津川（舞鶴市）
  - ・事業期間：昭和62年度～



#### 土砂災害防止対策の推進

- 志高（舞鶴市）
  - ・事業期間：平成24年度～

- 大空川（福知山市）
  - ・事業期間：令和6年度～

#### 治山事業の推進

- 直見（才谷）（福知山市）
  - ・事業期間：令和5年度～

- 野村寺（善寿寺）（舞鶴市）
  - ・事業期間：令和6年度～

- 篠田町（綾部市）
  - ・事業期間：令和7年度～

# 安心・安全に暮らせる地域づくり

## 災害に強い社会基盤整備

### 災害発生時等の交通ネットワーク確保や交通安全対策の推進

- ✓ 災害発生時等に**主要幹線道路のネットワークを確保**できるよう、**路面のかさ上げ**など道路機能の強化等を図るとともに、子どもや高齢者が安心して通行できる**交通環境の整備**を推進

#### 交通ネットワークの確保

##### □ 国道175号【下天津】（福知山市）

・事業期間：平成28年度～

##### □ 国道178号【和江】（舞鶴市）

・事業期間：令和2年度～

##### □ 福知山綾部線【高津】（綾部市）

・事業期間：平成18年度～

#### 交通安全対策（歩道の新設）の推進

##### □ 舞鶴綾部福知山線【川北】（福知山市）

・事業期間：令和元年度～

##### □ 余部下舞鶴港線【長浜】（舞鶴市）

・事業期間：平成23年度～

##### □ 綾部大江宮津線【新庄】（綾部市）

・事業期間：令和2年度～

ほか



# 安心・安全に暮らせる地域づくり

## 災害対応力の強化・安心して暮らせる環境整備

### 地域の防災・減災対策支援事業

#### R7年度の主な取組

- 管内各市と連携し、自主防災組織における**水害時避難行動タイムライン**の作成を支援
- 大規模災害発生に備え、住民や企業の**防災意識の向上**に向けた**勉強会**を大学等と共に実施

#### 避難行動タイムライン(イメージ)



### 安心して暮らせる環境整備事業

#### R7年度の主な取組

- クマ誘因物除去の重要性の啓発、センサーダッシュボードを活用した出没対応を実施
- 企業ボランティアによる**高齢者等の暮らしの見守り活動**や、過疎高齢化が進む集落での共同作業（草刈り等）の参画による**農村交流活動**を促進

#### 配達時の見守り



#### 農村ボランティア



# 多様な主体との連携・協働

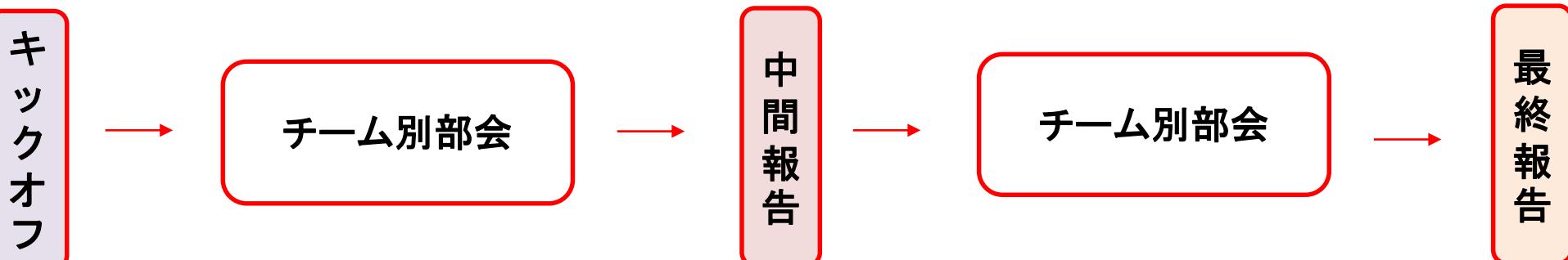
## 地域課題に新たな視点から取り組む仕組みづくり

### 「地域のみらい」共創プロジェクト事業

R7 新規事業

- 行政、企業、大学等若者によるプロジェクトチームを立ち上げ、中丹地域において検討を深めるべき個別課題について官民連携による新たな事業スキームの構築を検討

#### 「地域のみらい共創プロジェクトミーティング」



地域の事例を元にキックオフで意識付け → チーム編成による地域の結束・仲間づくり → 新しい価値を表現

3つのテーマ（お茶・伝統産業・京都舞鶴港）について検討

振興計画への位置  
付けによる公共事  
業での実践

官民が連携した新たな事業の創出  
(今ある技術や知識などをつなぎ合わせ  
て、新たな発想を表現する)

民間企業での実施

# R7年度当初予算（中丹広域振興局分）の体系【計35,400千円】

<b>若者が定着する持続可能な地域づくり</b>		<b>計15,460千円</b>
<b>定着促進</b>	▶ 中丹U I ターン促進事業	6,000千円
<b>子育て</b>	▶ 中丹子育て未来づくり推進事業	1,500千円
<b>働く場づくり</b>	▶ 中丹の未来をつなぐ産業創造事業	1,500千円
	▶ 儲かる農林水産業推進事業	4,210千円
<b>担い手育成</b>	▶ 将来の担い手育成・確保事業	2,000千円
	▶ 外国人材支援事業	250千円
<b>絆と交流の地域づくり</b>		<b>計17,940千円</b>
	▶ 中丹の魅力体験・発信事業	6,200千円
	▶ 中丹「食の魅力」発掘・発信事業	1,240千円
	▶ 「大阪・関西万博」中丹地域交流促進事業	4,500千円
	▶ 「中丹OCHA EXPO」開催事業	6,000千円
<b>安心・安全に暮らせる地域づくり</b>		<b>計1,000千円</b>
	▶ 地域の防災・減災対策支援事業	400千円
	▶ 安心して暮らせる環境整備事業	600千円
<b>「地域のみらい」共創プロジェクト事業</b>		<b>計1,000千円</b>
	▶ 「地域のみらい」共創プロジェクト事業	1,000千円